

活動テーマ

「校種間・地域連携を活かした環境教育の推進」

～学校と地域を結ぶランドスケープコーディネートの実践例 part4～

実践事例について

平成19年より東近江市立能登川南小学校との猪子山森林再生事業に参加し、8年目を迎える。この環境教育活動では、地域の財産である里山を保全することを通じて地域性を理解し、これまで3年間学んだ造園技術を活かした環境学習に取り組む。それらの学びを通して自らが主体的に行動できる能力を育成する。

導入

これまでの活動をまとめ、猪子山景観保全の大切さを知る。

展開

年3回の体験活動を通して、自然空間や保全意識を五感で感じる。

ふりかえり

学習成果を地域へ公開し、自分の学習活動に気づき行動する。

はじめに

私たちの身近な緑の空間には「自然」という言葉に対して、人間の意図的な「自然風景」も含まれる。現在、環境保全についての基本的な共通理念として「持続可能」という言葉が、国際的に広く、認識されている。このように、「緑の空間」を創造するには持続可能かどうかはまず問われる。このことから環境のとらえ方も「循環」・「生物多様性」・「生態系」・「共生」・「有限性」・「保全」と6つのカテゴリーを認識し、多面的な活動に取り組むことが大切である。今年度「緑地デザイン科」では、これまでの活動実績に加え、学年ごとに継続した環境教育に取り組んでいる。

活動目標

私たちは、平成19年4月滋賀県環境学習支援センターから地域コーディネートによる共同活動の依頼を受け、能登川南小学校5・6年生の猪子山森林再生整備活動を実施して6年目となる。また、平成23年度より環境教育モデル校、エコ・スクール、しが環境教育リーディングの研究事業の指定を受け、今年8月に行われた「環境教育フォーラム」においてこれまでの活動を紹介し、新たな環境学習のモデルケースができるよう取り組んでいる。

また、今年度も各学年発達段階的にテーマを設け、実践し、経験を積むことを目標とした。

平成26年度の取り組み

第1学年「ともに学び、活動できる人作り」

一年を通して、科目「農業と環境」と「総合実習」の中で、環境に対する意識の高揚をはかり、副教材としても「琵琶湖と自然」を活用した滋賀の環境について基礎基本を学ぶ。また実践活動では、校内の植物調査に加え、地域の河

川の水質調査の方法について学ぶ。

第2学年「若い力を地域に活かす町づくり」

一年を通して、科目「総合実習」の中で地域環境に関する具体的な活動を通して、町づくりを観点とした住みやすい環境作りについて学ぶ。今年度は、これまで8月の活動には、3年生とともに能登川南小学校との猪子山森林再生プロジェクトに参加していたが、今後の継続性を考えて、今年度は、6月20日の第1回より2年生は参加した。また12月には「河辺いきものの森」を会場に森林生態系の内容から里山保全の基礎を学ぶ。



H26.6.20 「猪子山」森林整備(2年生)

第3学年「具現化した環境学習の実践」

科目「総合実習」・「課題研究」の中で能登川南小学校5・6年生の2年間を通して計4回の活動を実施し、今年で8年目を終える。

◎活動実施日と内容

平成26年6月20日(月) 13:00~15:20

小学6年110名 高校3年18名 高校2年20名
内容:「6年生による下刈り作業」

今回は6年生を主体にこれまで植樹した落葉樹の下刈り作業を行う。また同時に刈った草を根本に敷き詰め、小学生に「緑肥」として活用する資源循環を学んでもらう。

平成26年8月11日(月) 9:30~12:00

内容：森林生態に関する説明会・竹藪の伐採整備・5年生による下刈り作業

小学生200名 高校生3年14名+2年8名

今回も小学生・高校生ともに2学年での取り組みとして、体育館において「猪子山の生態環境」について発表会を実施し、活動に対する意義を伝え、活動の引き継ぎとして実施することができた。

平成26年11月4日(火) 10:55~12:45

内容：「竹垣準備作業とロープワーク学習」

高校生3年31名

小学生にシュロ縄による男結びの習得を目指すため、コミュニケーションの取り方と結び方の講習会を実施した。

平成26年11月12日(金) 13:00~15:40

小学生5年生112名・高校生3年31名

内容：「竹垣制作」



竹垣作成の様子

まとめ

○「アカマツ林」と「シャクナゲ園」の見学

今年度、3年生の新たな取り組みとして、地域ある工場施設の緑化について、学ぶ機会を得た。



日時：平成26年5月27日(火) 5・6限

場所：村田製作所 八日市事業所

ここ八日市の環境として鈴鹿山系からびわ湖を結ぶ「愛知川」流域に関する植生の特徴として、「河辺の森」が存在します。この場所は2年生において学習する場所として利用しています。しかし、この場所はアカマツという通常山に自生する植物が、この平野部においては樹林帯として形成する特有の環境であることを知る機会となった。

また、工場緑化に関するシャクナゲ園の位置づけについても学ぶこともできた。

○「しが環境教育フォーラム」発表会へ参加

日時：平成26年8月1日(金) 9:00~16:00

場所：ピアザ淡海

小中・高校の環境学習担当の先生方の前で、私たちの取り組みについて紹介することができ、また環境学習に関わる交流も図れました。



今後の課題

本年度の研究活動を通して「しが環境教育リーディング事業」の環境フォーラムでは、「人と社会生活」をテーマに、研究活動を進めることができた。今後もより、実践における体験学習と校種間交流を軸とした探求的な学習計画をつくり上げていく必要がある。まさしく「生きる力」育む教育活動として共に、より効果的な指導やコーディネートに取り組んでいきたいと考える。

学校名	滋賀県立八日市南高等学校
住所	東近江市春日町1-15
電話番号	0748-22-1513
E-mail	yokaichiminami-h@shiga.ec.ed.jp